



12月02日
東地申第17号

「2022年3月ダイヤ改正等について」の検証に関する申し入れ

【東京電車区】団体交渉を行う!

1. 以下の「運転士による出区電車のドア開扉ならびに案内設定の取扱い」を行うため2分増とすること。
- ①平日112行路 回送1509Y 海浜幕張駅着折り返し場面
 - ②平日61行路 回送578F 東京駅折り返し場面
 - ③平日63行路 635F 出区、津田沼駅据付折返し場面

回答:必要な折返し時分は確保している。なお、引き続き状況は把握していく。

(組合)新たな取扱いが増加した。そもそも折返し時間(10両・11両・15両)の基準を明らかにすること。
(会社)折返し時間の目安として基本的には10両・11両を5分、15両を7分としている。またグリーン車など車内清掃が必要な列車の場合には付加時間を取っている。

(組合)217系や235系では案内設定の仕方が違う。その分の時間を組み込まれているのか?

(会社)組み込まれている。

(組合)そもそも時間に余裕がない。運転士による出区電車のドア開扉ならびに案内設定の問題点は現場からあげられているか明らかにすること。

(会社)計画副長とトレースを行ったがその際には問題はあげられていない。

(組合)現場では問題点の聞き取りも行われていないであれば改善もされない、施策の進め方の大きな問題がある。しっかりとコミュニケーションを取るよう指導すること。

(会社)今後も指導や計画と調整をしていく考えである。

2. 平日、休日101行路及び102行路の出勤時間を5時台に設定すること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

(組合)前回のダイヤ改正の交渉でも議論をした。サピアタワーの寢室数を明らかにすること。

(会社)7部屋確保し、丸の内車掌区や当直で割り振り予備部屋を一つ確保している。

(組合)サピアタワーに泊まれることで起床時間が大きく改善される検討をすること。

(会社)現実として難しい。乗務員の皆さんには協力をしていただいている認識はある。

(組合)現場の意見を聞きながら行路作成や行路の持ち替えを行うこと。

(会社)今後も意見を聞きながら行路作成をしていく。

3. 夕食を目的とした乗務の中断をを拡大するため、以下の行路については次の列車の乗務後に設定すること。

①平休5行路 2036M 後②平休8行路 2249M 後③平日669行路 2552Y 後

④休日73行路 1878F 後⑤平日76行路 1848F 後⑥平日78行路 1719F 後

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、乗務割交番作成規程に基づき行路を作成している。

(組合)食事時間の設定を改善していただきたい。①②は入区後睡眠となるがその前段の食事時間が設定されている。健康経営になっていない。次期改正時には検討をすること。

(会社)食事時間については列車ダイヤに縛られている。やみくもに設定しているわけではない。今後も行路を見ていく。

4. 「乗務員の業務等の見直し」における準備時間、起床点呼時間を2021年度に戻すこと。

回答:安全・安定輸送を確保しつつ、働きやすさの向上を図りながら見直した。なお必要な労働時間は確保している。

(組合)起床時間での作業では時間が足りず、皆が早目起床をしている。現実を認識していただきたい。

(会社)起床時間については個々のリズムもある一概に全てとは言えない。

(組合)見習い養成のための出区点検など教育の為に早目作業として起床している現実がある。

(会社)見習い養成のための教育の時間は重要である。教育する旨を副長に事前に申告して、超勤対応していただくことは可能である。

サピアタワー移転に伴い、環境が大きく変化している！職場の声を反映させるべきだ！